

佐竹 細山田は下手くそで。(笑)。
細山田 佐竹さんの球めちやめちや速いから(笑)。

佐竹 僕が4年生のときに細山田が1年生だったんですけど、細山田はずい肩書というか、すぐプロにいけるキャッチャーが入ってくるって噂だったんです。そしたら(捕球時に)ミット動きまわるとし捕れないし…。

細山田 僕は田舎の強くない高校出身で、こんな球が速い人、受けたことないですよ。もう大変。練習で捕球ミスすると嫌な顔されるじゃないですか。本人はしてるつもりないかもしれないですけど…。

佐竹 してたな(笑)。
細山田 してたつすよ(笑)。でも自分でもミット動いてるのはわかるし。球を止めるだけで精一杯でしたな。絶対無理やと思った。

——上下関係は厳しかった？
佐竹 僕が入ったところは先輩も優しかったですよ。厳しいのかと覚悟してたんですけど、案外で。1人部屋だし、洗濯も各自でやるし。もちろん、未熟だと怒られます。

細山田 プレーで言われるのはしょうがないです。勝ちたいし、自



佐竹 功年 (さたけ かつとし)
投手・169センチ72キロ・右投右打。1983年10月14日生まれ、香川県出身。土庄高～早稲田大～トヨタ自動車。小柄ながらも高校時代から速球派投手として知られる。早稲田大時代は150キロを計測することもあった。トヨタ自動車に入社し、球速よりも球質、打たれにくさを追求するスタイルにチェンジすると、さらに成績は向上し、西濃運輸の補強選手として2014年都市対抗優勝に貢献、2016年はトヨタ自動車として初の都市対抗制覇。そして自身も橋戸賞(MVP)を獲得した。現在の“ミスター社会人”。

分も下手なのはわかっているのに。逆に、言ってくれたほうがいい。グラウンド外で何か言われることはなかったです。

——普段のお2人の絡みは？
細山田 1年生と4年生でもそんなかったです。ブルペンで少し話すぐらいじゃなかったですか。

佐竹 全然覚えてない。
細山田 そのレベルです。1人部屋なので会わないんですよ。でもコンビニ行ったときに代金払ってくれることはありました。

——トヨタで久しぶりの再会だったんですね。
佐竹 そうですね、一度、横浜の

病院でたまたま会ったぐらい。でも、早慶戦とか、細山田のプロの試合は時々見ていました。

——トヨタでバッテリーを組んでみてどうでしたか？
佐竹 うまくなってましたね。
細山田 (褒めるのは) それぐらいいいですよ(笑)。

佐竹 キャッチングも送球も。リードで感心したのは、初めて組んだときに、自分の投げたい球のサインがポンポン出てくるんです。相当勉強してくれました。

——細山田さんから見て、佐竹さんの投球の長所は？
細山田 バッターを見て投げている

るところです。自分のボールとバッテリーを比較して、このバッテリーは合わないだろうなと思って投げているのがわかる。誰がキャッチャーでもいぐらいです。そういうピッチャーは、プロで自分が受けた中でも三浦さん(大輔)／元DENA)ぐらい。三浦さんには教えられました。

佐竹 僕は中学時代にキャッチャーだったので、前の打席も参考にして、「このバッテリーをどう抑えるか」という発想から入ります。単に投げているだけではつまらない。まあ、ピッチャーにとつて社会人は意外と初対戦の選手も多い。3年もすれば、ライバルチームの打線の顔ぶれが変わっていることもよくある。その点は、プロと違うかもしれないね。

細山田 プロは(常時対戦する相手)が5チームだけです。佐竹さんは、バッテリーにとつて初見でくるとイヤなピッチャー。その特徴をうまく使わせてもらっています。

——自他のチームで印象的な選手
——今までトヨタで一緒にプレーしてきた中で、印象に残っている